

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年9月3日

【2018年8月25日～2018年8月31日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利も上昇しました。トルコやアルゼンチンなどに対する不安がブラジルを含めた他の新興国への重しとなっています。一方で、ブラジル中央銀行が為替介入の強化を発表したことなどがブラジル・レアル上昇の材料となりました。

経済指標では、失業率やGDP(国内総生産)などが発表されました。7月の失業率は前月よりは低下したとはいえ、依然高止まりしています。また、4-6月期のGDPについては前年比で1.0%の成長にとどまり、市場予想を下回りました。

大統領選挙に関しては、8月31日(現地、以下同様)、高等選挙裁判所がルラ元大統領の出馬を認めないことを決めました。裁判所は9月10日までの候補者差し替えを求めています。ルラ陣営は抗告する方針を示しているものの受け入れられる可能性は低いと考えられ、ルラ陣営は今後代わりの候補者を擁立することになるとみられます。

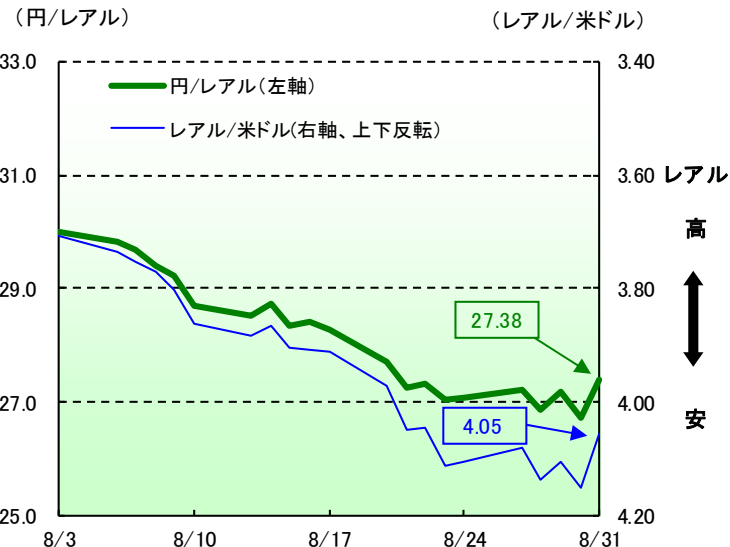
【2】今週の見通し

今週は、PMI(購買担当者指数)や鉱工業生産、IPCAインフレ率などの経済指標が発表される予定です。IPCAインフレ率は前月比、前年比ともにやや減速することが予想されています。

大統領選挙に関しては、世論調査が複数公表される予定となっています。国民からの人気が高いルラ氏の出馬が認められなかったことで、同氏の支持票がどの候補者に流れるかが選挙結果を大きく左右することになるとみられます。また、世論調査によるとどの候補者に投票するかが決まっていなかった有権者も依然多くいるとされており、それらの票をどの候補者が取り込めるか、今後の選挙キャンペーンに注目が集まります。

【ブラジル・レアル 為替推移】

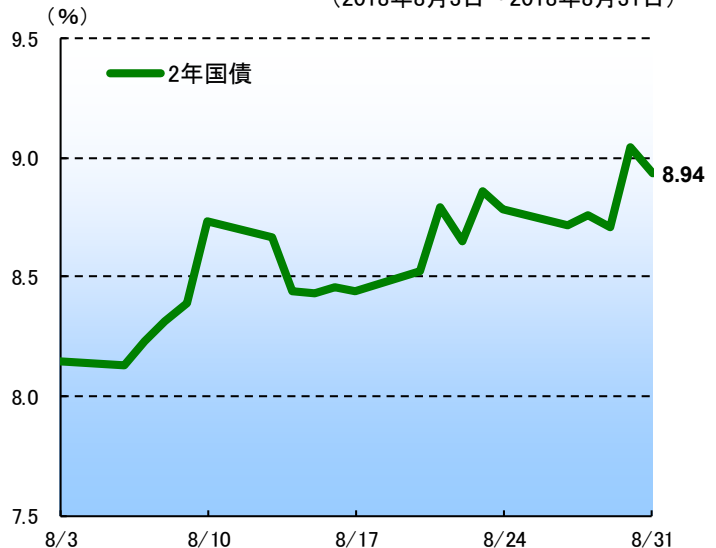
(2018年8月3日～2018年8月31日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年8月3日～2018年8月31日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>